

平成 27 年 5 月 26 日(木)

平成 27 年度 事業活動報告書

【法人活動状況】

理事会

年 3 回開催（平成 27 年 5 月 18 日、12 月 24 日、平成 28 年 3 月 23 日）

監事監査会

年 1 回開催（平成 27 年 5 月 11 日）

【施設利用状況】

平成 27 年度入所率及び平均介護度

入所率	平成 26 年度		平成 27 年度	
	入所	99.7%	入所	99.7%
	短期入所	90.7%	短期入所	82.7%
	合計	99.0%	合計	98.5%
平均要介護度	平成 27 年 3 月末時点		平成 28 年 3 月末時点	
	4.24		4.22	

平成 26 年度空床利用 空床数 386 日：利用数 66 日：利用率 17.10%

平成 27 年度空床利用 空床数 557 日：利用数 23 日：利用率 4.13%

※（年度中退居者 12 名）

平成 27 年度月別稼働率及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 計
入所	94.9%	99.2%	99.6%	96.7%	96.6%	98.0%	98.8%	99.7%	100%	97.4%	90.8%	93.1%	97.0%
短期	90.8%	83.9%	93.3%	89.9%	79.8%	90.0%	79.0%	73.3%	88.7%	82.3%	68.1%	79.0%	82.7%
計	94.6%	98.0%	99.1%	95.8%	95.4%	97.4%	97.4%	97.7%	99.2%	96.2%	89.1%	92.1%	96.0%
空床 利用	9	6	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	23
平均 介護度	4.26	4.31	4.3	4.3	4.32	4.3	4.28	4.3	4.3	4.26	4.28	4.22	4.29

平均介護度内訳

入所（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	男性	女性	計
人数	7 名	43 名	50 名
要介護度 1	0	0	0
要介護度 2	0	0	0
要介護度 3	0	9	9
要介護度 4	2	19	21
要介護度 5	5	15	20

短期入所（平成 27 年度利用状況）

短期入所	男性	女性	計
人数	43 名	141 名	184 名
要介護度 1	0	4	4
要介護度 2	5	26	31
要介護度 3	9	54	63
要介護度 4	17	17	34
要介護度 5	12	40	52

平成 27 年度入退所状況内訳

入所者内訳

退所者内訳

入所前の居所		退所後の居所	
家庭	2 名	協力医療機関	1 名
認知症対応型共同生活	5 名	その他の医療機関	3 名
介護老人保健施設	1 名	死亡（当該施設・在宅）	4 名
特定施設入所者生活	2 名	死亡（施設・医療機関）	4 名
その他	1 名		
計	11 名	計	12 名

【施設活動状況】

行事活動（別紙 1 参照）

総行事回数 71 回、

全体行事：オカリナ演奏会、バイキング、敬老会、夏祭り、幼稚園交流会、小学校交流会、ボランティア音楽会、餅つき、パンフルート演奏会

各ユニット行事：誕生日会、外出企画、花見、そうめん流し等

参加人数 534 名（月平均 44.5 名）

新企画として「けしご会」として餅つきを全ユニット合同にてご家族にも参加、ご協力をいただき実施した。また、三楽会様主催のパンフルート演奏会へ参加をさせていただいた。その他施設外行事として、中川町夏祭りへの参加もさせていただいた。

クラブ活動： 生花：延 203 人、図書館ツアー：延 24 人、体操：延 139 人、
習字：延 154 人、園芸：27 人 合計 570 人（月平均 47.5 人）

クラブ活動内容に変更ないが、以前参加出来ていたクラブ活動への参加が難しくなったケースもあり、また、利用者の状態や入れ替わりにより全体的に参加率が低下した。クラブ活動への参加が難しくなった利用者は体調などを考慮し多目的ホールでの実施から居住フロアでの実施にすることで参加を促した。新入所の利用者には見学などしていただきご興味があるクラブ活動への参加をいただいた。

ボランティア受入（別紙 2 参照）

ボランティア受入延数 273 人（新規登録者数 34 名、継続登録者数 31 人）

平成 27 年度受入延数は前年より 48 名減少しているが、学生ボランティアコーディネーターの協力の下、新規学生ボランティアの受け入れが良好であった。日常の趣味・生活支援の為のボランティア活動はより達成感を感じられると継続をして頂いている。メイクアップ、眼鏡の調整、オカリナ演奏、園芸、生け花等、地域のボランティアの協力を継続して得ることができている。

職員の体制（平成 27 年 3 月 31 日現在）

施設長	事務員	員 生活相談	介護職員	看護職員	指導員 機能訓練	栄養士	調理員	専門員 介護支援	医師
1	2	1	29	6	1	1	外部委託	1	嘱託

※上記兼務を含む

介護福祉士比率 介護職員 18/29 人（パート職員含む）

平成 27 年 4 月 1 日より、介護職員処遇改善加算（Ⅰ）→ 改正後の新たな介護職員処遇改善加算（Ⅰ）の算定開始

平成 27 年 11 月 1 日より、看護体制加算（Ⅰ）→ 看護体制加算（Ⅰ）及び（Ⅱ）の算定開始

採用活動

合同就職説明会

社会福祉協議会主催で実施の合同就職説明に参加、岡山県介護事業所運営向上ネットワーク主催で実施の合同説明会に参加。ハローワーク西大寺主催の合同説明会に参加。岡山県中小企業団体中央会主催の合同説明会に参加。

個別就職説明会

介護初任者研修修了施設での就職説明会に参加

新卒者 2 名採用。

事故報告（別紙 3 参照）

平成 27 年度中に岡山市への報告事故が 5 件発生した。うち骨折 4 件、切傷/擦過傷 1 件。

入居者様ご家族満足度調査（別紙 4 参照）

平成 27 年度上期に意見箱用活用の案内により、意見を募った。意見箱の活用なし。

平成 27 年度下期に平成 27 年度中に入居者様のご家族に対する満足度調査（アンケートによる）を 1 回実施。

研修（公益）事業

平成 27 年度中は社会福祉士及び介護福祉士法第 14 条における喀痰吸引等研修事業 2 号研修を 1 期開講した。4 名を修了とした。

固定資産等の増減

ボイラー改修工事 2,400,000 円

厨房エアコン改修工事 3,269,397 円

温冷配膳車用電源工事 726,603 円

施設整備、修繕等

ベッド 27 台修繕 818,630 円 プレハブ倉庫再設置 15,000 円 厨房機器修繕 152,345 円

3 階西系統空調・居室空調修繕 313,200 円 厨房スポットエアコン修繕 198,640 円

南駐車場路盤地補修 54,000 円 スプリンクラー修繕 324,000 円 3 階浴室遠赤外線ヒーター
取替 185,112 円 3 階特浴修繕 220,666 円 非常誘導灯修繕 367,200 円 2 階バルコニー
樋補修 183,600 円 その他

処遇・委員会活動

- ① 個別ニーズに対応した暮らしの実現の為の取り組みとして、ユニット職員と多職種参加のユニット会議を定例化し、入所様の個性を尊重した暮らしの在り方、それぞれの行事の在り方を検討した。

誕生日会は、望まれる形での個別対応とし、勤務体制を見直し担当職員と利用者のコミュニケーションの機会、時間を調整し、企画や外出の機会の増加に努めた。

下半期以降職員数の都合上企画の制限し、ショートステイの受け入れの優先を行った。

- ② 勉強会の実施

各委員会が講師となり、毎月の勉強会を行い意義目的の浸透に努めた。

施設内研修の充実を図り、各委員会での取り組みと課題についての研修を行い施設全体としての意識付けを高めるよう努めた。①同様下半期は実施機械に制限が生じた。

- ③ 給食委員会

月に 1 回の季節ものおやつ提供、バイキング形式での食事を年に 3 回（5 月、10 月、2 月）実施。反省内容として段取り不足があり当日対応に追われることが多かった。しかし、利用者にはメニュー内容、味付けは大変好評であった。

施設内研修では目標のユニット炊飯に向けて「おいしく・楽しく・安全」に食べるための注意点

や提供方法を学んだ。

平成28年度は温冷配膳車を使用しての配膳が開始したため、更なるステップアップを図りたい。引き続き、一方的な食事提供にならないよう多職種と連携し早期対応に努める。また、適宜食事形態の見直しを行い喫食量の維持・向上を図るとともにバイキング、おやつや食事作りの企画を計画して楽しい時間を過ごす事ができるようにする。

④ 感染症委員会

感染予防対策の対応がしっかりと出来ていたため、職員でインフルエンザにかかった人がいたが、職員間の感染が、感染性胃腸炎・インフルエンザ等発生しなかった。その一方で感染委員の仕事が把握できておらず委員活動が行えていないこともあったため、担当職員の意識向上を再度徹底する。また手洗いうがいの出勤退勤時の実施、食事前の職員、利用者の手洗いの実施など職員同士の声掛け活動などで食中毒蔓延防止のアピールをしていきたい。

今年度はノロウイルスによる感染性胃腸炎やインフルエンザも発生しなかったが、流行時に慌てないように実践していく。平成28年度の活動目標は、吐物処理の方法が職員全員正しく行えるように、勉強会等を通して意識統一を図る。手洗いうがいを徹底し、各自感染予防を意識する。

活動内容

- ・吐物処理グッズの確認見直し（1回/月 ユニット会議の日）
- ・マニュアルの見直し（2回/年・適宜）
- ・手指消毒、ニューズとハンドクリーンの設置（インフルエンザ、感染性胃腸炎等流行時期）
- ・面会者用ポスターの掲示
- ・マスクの設置（流行時期）
- ・物品の見直し（2回/年）
- ・外部からの伝達（インフルエンザ注意報・発令等）

⑤ 褥瘡予防・改善委員会

褥瘡の早期発見・早期対応に努め、日頃の皮膚観察、身体観察を細目に意識して行い職員間での情報共有を行った。その結果予防出来た。また、ユニットによって対象者が多いユニットもある為、フロア単位で協力して対応していきたい。これらの対応の一方で剥離やただれ等の皮膚トラブルが増加しているので、早期発見早期対応を意識するとともにその後の対応等経過を把握し、連携を図りたい。

平成28年度の活動目標は、日頃から皮膚状態の観察を意識して行い、早期発見・早期対応に努める。また褥瘡に対する原因を分析し、多職種と連携して予防・改善を行う。

⑥ 事故対策委員会

平成26年度は特に転倒、転落の事故件数が多く、平成27年度委員会として現状に合う対策と将来にわたって改善できることを検討し、実行してきたが、目に見えての改善はあまりみられていないように思われる。同じ方の同じ様な事故が続くケースも目立っていたように思う。一方で勉強会を通して事故報告書の意義や事故報告書の有効的な記載方法を検討する機会を設けられたことで、よりよい報告書の作成が出来ている。

平成28年度の活動目標は、事故対策の意識を高め、決定した事故対策を徹底することと、事故予防のスキルを磨いていくこと、ヒヤリハットの情報共有意識を強化することを挙げる。しかし

意識を高めるだけでは改善できない事故も多いため、物品等の道具の使い方を見直し、ヒヤリハットの段階で試していけるようにしたい。そのための事故対策物品も

⑦ 身体拘束廃止・虐待防止委員会

身体拘束 1 件 H27.4.20～H27.5.6 短期入所

内容：居宅ケアマネジャーより、新規の方の緊急短期入所の依頼あり。主介護者である長女が、糖尿病の悪化により緊急的に2週間の入院が必要となったため、回復するまで短期入所を利用したいとのこと。利用にあたり、長女より、「本人は100歳を超えた年齢であり、絶対に落として（転落）もらっては困る。入院になったら一気に状態が低下すると思うから。」と4本柵への強い希望を示される。話し合いを行うもご家族の納得が得られなかった。100歳を超えた高齢であり、体力の低下が見られているという点から転落することは生命への危険に直結する。「絶対に転落させないように」という家族の希望に対して、現時点では代替案がないこと。今回の利用希望自体が緊急避難的意味合いが強いことから一時的な対応と考えられるため、今回の利用に限り4本柵を使用した。

平成27年度身体拘束は勉強会とユニット会議の場で「身体拘束にあたらぬか？」という言葉を出し合い、意識の共有が以前に比べ向上していると感じられた。無意識にグレーゾーンに踏み込んでしまうこともあったという反省も多く、身体拘束を意識できているという成果はあった。平成28年度の活動目標は、身体拘束についての共通理解と意識向上のため、勉強会を通して職員間で一緒に考える機会を作っていく。

平成27年度虐待防止も勉強会を行い、虐待への意識が高まっている。無意識にグレーゾーンの介護を行っていないか、職員間で意識することで、立ち止まって振り返ることが出来、その都度改善していく。平成28年度の活動目標は、虐待、虐待のグレーゾーンといわれる介護について、職員間で話し合う機会を持ち、共通認識を図ること。相談しやすい職場環境をつくることで、互いに支えあうという意識を向上していきたい。

⑧ 研修・教育委員会

介護技術研究会・排泄研究会の設立運用について

- ・職員の退職、入職に伴い、職員間の連携が図りづらかった。
- ・研究会メンバーによる勉強会・外部研修への参加の時間が中々取れなかった。

施設内研修について

- ・各委員会に内容を任せて実施した。
- ・年度後半は職員人数上、参加できない職員がいた。

施設外研修について

- ・発表の有無・場等、内容を検討することでより効果的に進めることが出来た。
- ・参加メンバーの計画に基づき、実施できた。

平成28年度活動目標

介護技術研究会・排泄研究会の運用について

- ・勉強会の実施・外部研修への参加を実行する。

施設内研修について

- ・年2回以上の開催を実施する。

施設外研修について

- ・発表の有無・場所等今後も検討していく。
- ・参加計画を基に、参加し、知識習得した上で施設での実施を試みる。

外部研修は中堅職員の資質向上に重点を置いた。施設内研修は各委員会よりテーマを設定し実施。

⑨ 医療ケア委員会

介護職による喀痰吸引等の研修について

- ・引き続き各分野からの協力があり、スムーズな運営が出来た。
- ・新人、中途採用者の説明指導に注力したため、資格保持者への振り返り指導が出来なかった。

現場での活動について

- ・アクシデント報告書の提出内容は個人の不注意によるものであったが、徹底した指導が出来ていないため、繰り返してしまっていた。
- ・個別処遇等、細かいところに着手しにくかった。
- ・看護師間の共通認識が薄かった。

平成 28 年度活動目標

介護職員による喀痰吸引等の研修について

- ・引き続き各分野からの協力のもと、実施する。
- ・新人、中途採用者への指導はもとより、資格保持者への振り返りの指導を充実させる。
- ・登録施設としての役割の強化。

現場での活動について

- ・アクシデント報告書に沿って、適時指導していく。
- ・ユニット内での話し合いを徹底し、個別処遇を充実させていく。
- ・看護師間の認識を高め、共通の実施・説明・指導が出来るようにする。

⑩ 防災・災害対策委員会

平成 27 年度は災害時事業継続計画（BCP）の整備にあたり、まずは職員向けのマニュアルの整備を行った。また、マニュアルと岡山市のハザードマップをもとに勉強会を実施し、施設内での防災意識の向上に努めた。また、火災発生時の対応マニュアルの見直しを行い、消防への対応を見直した。平成 28 年度の活動目標は事業継続計画の整備と災害備蓄を使用した防災訓練の実施による防災への対応力向上を行う。

平成 27 年度消防訓練実施状況

年度内 2 回実施

平成 26 年 6 月 29 日

総合訓練（日中想定）

2F どんぐりの村の台所より出火

参加利用者 27 名 参加職員 16 名

平成 27 年 8 月 7 日

総合訓練（夜間想定）

3F ひまわりの丘の台所より出火

参加利用者 8 名 参加職員 11 名

平成27年度 行事活動報告書

施設行事、その他の行事

1	5月18日	オカリナ演奏	25
2	5月26日	バイキング	38
3	7月9日	ソーメン流し	8
4	7月14日	〃	9
5	7月16日	〃	10
6	7月21日	〃	10
7	7月23日	〃	9
8	7月28日	〃	7
9	8月17日	オカリナ演奏	22
10	9月13日	敬老会・けしご祭り	54
11	10月9日	可知幼稚園交流会	28

12	11月24日	芥子山小学校交流会	20
13	12月1日	可知小学校交流会	15
14	12月2日	可知小学校交流会	15
15	12月4日	可知小学校交流会	18
16	12月17日	けしご会	54
17	1月17日	バイキング	27
18	3月7日	オカリナ演奏	22
19	3月20日	ボランティア音楽会	25
20	3月31日	パンフルート演奏会	10
合計			426

2階 ユニット行事

21	4月1日	誕生日会	1
22	4月2日	誕生日会	1
23	4月9日	花見	6
24	4月16日	花見	2
25	4月29日	誕生日会	1
26	5月24日	誕生日会	1
27	6月14日	誕生日会	1
28	6月24日	誕生日会	8
29	7月2日	誕生日会	1
30	7月5日	誕生日会	1
31	7月30日	外出企画	2
32	10月3日	誕生日会	1
33	10月20日	誕生日会	3
34	10月20日	誕生日会	1
35	10月25日	誕生日会	1
36	11月3日	誕生日会	2
37	11月2日	誕生日会	5
38	11月10日	外出企画	2
39	11月11日	外出企画	3
40	1月17日	誕生日会	2
41	1月18日	誕生日会	1
42	3月5日	誕生日会	6
43	3月15日	誕生日会	1
44	3月30日	誕生日会	1
合計			54

3階 ユニット行事

45	4月3日	花見	2
46	4月5日	誕生日会	1
47	4月6日	花見	5
48	4月8日	花見	1
49	4月14日	花見	3
50	4月20日	誕生日会	1
51	4月25日	誕生日会	1
52	5月9日	誕生日会	1
53	5月15日	誕生日会	1
54	5月17日	誕生日会	1
55	5月29日	誕生日会	1
56	6月15日	誕生日会	1
57	6月25日	誕生日会	1
58	7月16日	誕生日会	7
59	7月12日	外出企画	5
60	7月19日	外出企画	5
61	9月4日	誕生日会	1
62	9月19日	誕生日会	2
63	10月19日	誕生日会	2
64	11月17日	誕生日会	1
65	12月5日	誕生日会	1
66	12月10日	誕生日会	1
67	12月20日	誕生日会	1
68	2月5日	誕生日会	5
69	2月10日	誕生日会	1
70	2月21日	誕生日会	1
71	3月30日	誕生日会	1
合計			54

参加者合計

534

平成27年度 ボランティア受け入れ状況

別紙2

ボランティア参加総数(H27.4~H28.3)

月	参加人数	一日平均	新規登録者数	継続登録者数	延べ登録者数	備考
4	16	0.9	5	22	25	
5	21	1.1	5	20	23	
6	19	1	3	23	24	
7	27	0.7	2	25	27	
8	22	0.5	1	21	28	
9	60	1.9	9	30	45	
10	21	0.5	0	18	22	
11	14	1.8	0	25	28	
12	23	0.8	5	28	34	
1	12	0.64	1	30	35	
2	13	0.3	3	25	25	
3	25	1.8	0	31	33	
合計人数	273		34			
平均	3.075	1.004	2.66			

行事延べ参加人数(H27.4~H28.3)

行事	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
園芸クラブ		5	7	4	8	4	4	5	雨天 中止	9	雨天 中止	0	0	46
生け花クラブ		5	7	6	8	6	6	6	6	7	4	4	7	72
カレンダー作り		6	7	8	6	5	4	4	8	7	8	8	0	71
メイクボランティア				1		1						1	2	5
オカリナ風車						6		6					5	17
夏のボランティア体験					5									5
ユニット企画														0
けしご祭り							46							46
けしご会														
音楽会													11	11
合計		16	21	19	27	22	60	21	14	23	12	13	25	273

年間事故種別件数

年間ひやりはつと種別件数

項目	2階	3階	ショートステイ	合計	項目	2階	3階	ショートステイ	合計
転倒	6	14	5	25	転倒	3	2	2	7
転落	19	13	4	36	転落	4	1	1	6
誤嚥	0	1	0	1	誤嚥	0	0	0	0
窒息	0	0	0	0	窒息	0	0	0	0
表皮剥離	17	23	4	44	表皮剥離	0	0	0	0
暴言・暴力	1	2	0	3	暴言・暴力	0	1	0	1
内出血	19	21	1	41	内出血	0	0	0	0
異食	0	1	1	2	異食	0	2	0	2
誤薬	0	0	0	0	誤薬	0	0	0	0
その他	11	12	1	24	その他	1	0	0	1
計	73	87	16	176	計	8	6	3	17

市への報告事例 (4件)

		日時・内容 事故 概要
H27年	4/9(木) 発見 廊下/ ホール 移動中 転倒 骨折 入院 自立度A (1) 認知症度 Ⅲ(a)	<p>4/9 7:05に本人居室前の廊下に右側臥位で横になっている所を発見。声かけに反応はあるが寝始め閉眼しておられる。状況を確認するとズボンの片方に両足を入れた状態である。頭部外傷や腫脹は見られないが痛みをきくと頭、首、左大腿部に痛みの訴えあり。左大腿部の痛みは特に強く、やや発赤が見られる。嘔気なし。立ち上がり、歩行は困難である。血圧160/98、脈54、体温35.9℃。 (直前の巡視時(6:40)に訪室した際は眠られていた。)</p> <p>8:30 (看護師所見)両下肢、腹部の痛み訴えあり。触診拒否あり。不穏になられたため一旦退室。 9:00血圧120/60、脈54。体熱感なし。 10:30(看護師所見)左大腿部発赤、腫脹、熱感ないが左大腿部さすり痛みの訴えあり。左大腿部可動域制限あり。他の部位の痛みの訴えは見られない。外傷、頭部打撲痕なし。</p> <p>11:10けこの里を施設車にて出発。西大寺病院に受診。左大腿骨転子部骨折との診断にて入院指示あり。</p> <p>【事故の原因】 ズボンの片方に両足を入れ、眠っていたか、覚醒時にズボンをその様に履いた状態でトイレに行こうと思い、居着を出したが、思うように歩けずバランスを崩し転倒したのではないかと。ふらついた際、左大腿部を手すりに強くぶつけたか、床に倒れた際に、左大腿部を強く打ちつけたのではないかと。左側臥位で倒れていたが、痛み等あり寝返りを打ち、発見時は右側臥位であったのではないかと。</p> <p>【対策】 退院後の状態として、自立歩行不可能。移動は通常車椅子使用であり、病院ではハビリの時のみ、歩行をしていた。状態が変わっているため、経過観察し、状態に合わせて再検討していく。</p>
平成27年	6/26(金) 発見 食堂 座位 不明 骨折 入院 自立度A (2) 認知症度 Ⅳ	<p>14:55看護師がご本人の右手振戦・右手指冷感、赤紫色の変色を確認。15:20に臥床の為、食卓の椅子から車椅子へ移乗。その際、身体を動かすたびに左下肢に強い痛みが訴えあり。左大腿部付近、内出血、傷、腫脹はみられない。体動がなければ痛みの訴えはない様子。(14:00過ぎに後方から両腋窩支持歩行にてトイレ誘導し、排泄後、同じく介助歩行にて食卓椅子に戻すが、その間いつもと歩行状態変わりなし。痛みの訴えもなし。14:30食卓椅子にて、臀部が前方にずれた状態で座っている(普段からなりやすい)ため、介助にて両腋窩に後方から手を入れ引き上げる形で姿勢を正すが、この時にも、音段と変わった様子は見られなかった。)</p> <p>15:30家族に連絡し上記の件の報告と、受診に行かせてほしい旨を伝える。西大寺病院に連絡するが、整形外科医が不在の為、6/27の9:00の予約となる。家族へ再連絡し了解いただく。</p> <p>6/27 8:20長女面会あり。面会の際、「こけているわけではないので骨が折れることはないでしょう。座っていることの方が多く長いので筋肉がつったり萎縮したりしたことで痛みがあるのではないですか。受診に行って検査するだけで疲れ、元気がなくなってくる。あまり受診はしたくない。熱があるのはおかしいけど、風邪や膀胱炎じゃないですか。」と話す。しかし、ご本人の苦痛な様子を見られて、「受診は行こうと思います。入院はしなければいけない状態でしょうか。入院はさせたくないんです。以前のこと(2/28~3/9)同病院入院。入院による状態低下への不安。病院への不安や不満があるとのこと)があるので。」と話す。看護師より「受診の際、医師から説明があると思いますからよく相談して決めてください。」と伝える。</p> <p>6/27 8:35発で岡山西大寺病院受診。左大腿骨頸部骨折と診断され、入院となる。</p> <p>【事故の原因】 転倒や転落はされていない為原因は不明であるが、14:00に音段と変わりなく歩行が出来ていたという状況から、これより前での骨折は考えにくい。その後、14:30に座位が崩れていたため介助にて座り直しを行ったが、その時もその後も変わりなく過ごされていた。14:55に右手振戦・右手指冷感、赤紫色の変色あり、体調がすぐれない様子であったため、15:20に臥床していただこうと車椅子に介助にて移乗しようとする、動かすたびに左下肢に強い痛みが見られた。この状況から着席時や座りなおしの際に何らかの衝撃が加わった可能性が高いと考える。</p> <p>【対策】 多少の衝撃があっても骨折する可能性のある方であることを職員間で意識共有すること。 着席時や座りなおしの際には上記を意図して極力衝撃を与えないよう細心の注意を払う。</p>

日時・内容 事故 概要

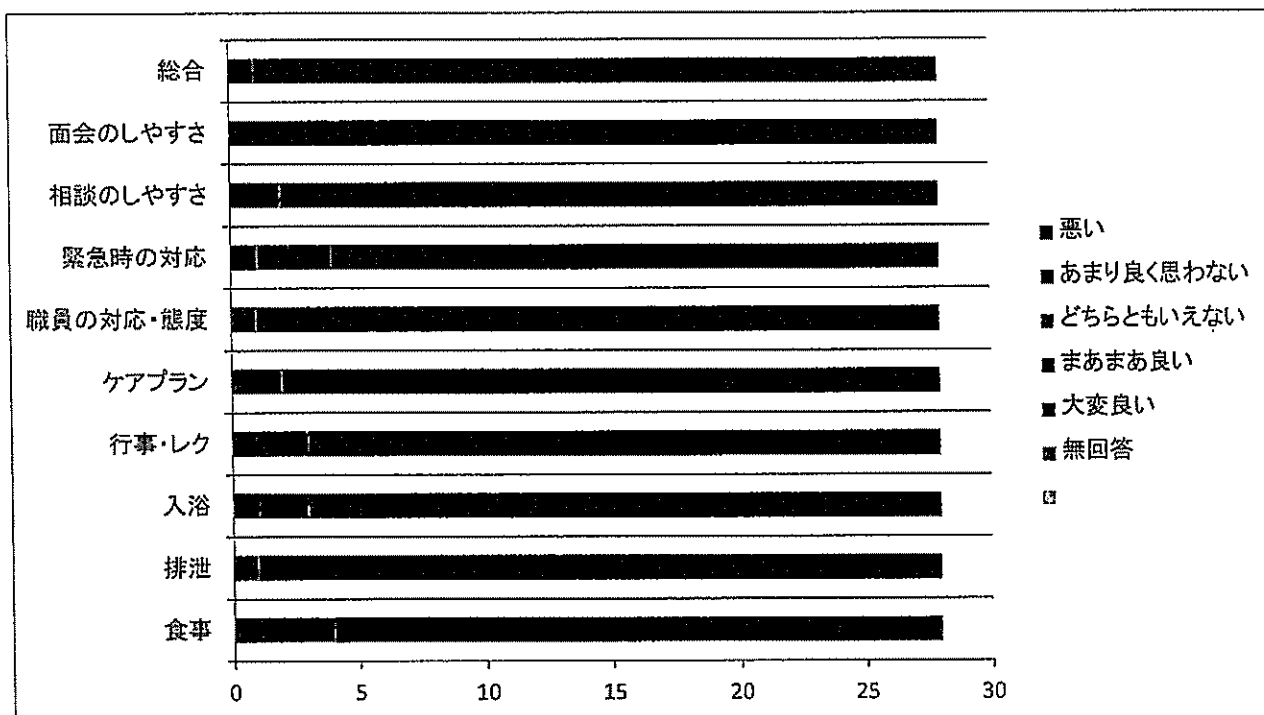
<p>平成28年 1/21(木) 発見 居室 臥床 骨折 入院 自立度C (2) 認知症度 IV</p>	<p>H28.1.21の4:00に訪室しベッド上でオシメ交換をしていたところ、左大腿部に比べ、右大腿部が大きく、また青白くなっているのを発見する。夜間拘束看護師に連絡。8:50看護師が訪室。右大腿部の腫脹、熱感あり。痛みの有無は不明瞭。右下肢動かすと顔をしかめたり、「ウー」という声あり。時間を置いて再度経過をみて受診すべきか判断することとなる。10:05右大腿部、右股関節部の腫脹著明。右股関節部の黄色から紫色の内出血、熱感あり。強い痛みの訴えないが苦痛表情あり。10:15長男に状態を伝え、受診希望されるため、10:25発で西大寺病院に受診。 病名は右大腿骨転子間骨折。骨折部の断端がずれ突き上げている。年齢のことを考えると、手術をしてもなくてもよいが、手術をしなければ今の状態なら最低3ヶ月は寝たきりの生活でかなりの痛みを伴っているだろう。寝たきりになると、床ずれ、肺炎のリスクが高くなる。今現在、車椅子生活なので歩くために手術するのではなく、痛みがなくなると車椅子で過ごせるように手術はした方がいいだろう。骨粗鬆症もあり、骨が薄くなっている。骨折するリスクは高い人です。貧血もあり、輸血をして、全身状態を改善して手術をしましょう。ただ、肝・腎・心臓の機能が悪く手術できない場合もある。その時は痛み止め等の薬を調整してけしごの里で過ごしましょう。来週、手術予定としましょう。との医師からの話あり、入院となる。 骨折の原因と考えられるような転倒や転落などは生活上見られなかった。 【事故の原因】 ベッド上での臥床時、両下肢の間に拘縮予防としてクッションを挟んでいるが、それを入れ込む際に負荷がかかったのではないかと推察。 普段よりベッド上での体位変換やオシメ交換時に身体に力が入りやすかったり、ベッド揺や職員を力強く握ったりすることもあったため、介助中に身体を動かした際、身体に負担がかかる体勢になっているまま介助を行ってしまったのではないかと推察。 年齢による骨密度の低下とともに、日々の他動的な動作の積み重ねで起こってしまったのではないかと推察。 【対策】 骨折に繋がる危険性があるということ意識した上で、ご本人の状態に合わせた無理のない介助を再度心がける。</p>
<p>平成28年 1/21(木) 発生 廊下/ ホール 移動中 転落 切 傷/擦過 傷 通院 自立度C (2) 認知症度 IV</p>	<p>昼食前、雑床し、車椅子にて座位保持時間を設けていたが、前傾姿勢が見られていた。13:10ごろ、居室にて横になってもらうため、トイレ誘導、介助し、便器から車椅子へ移乗。移乗後座り直しの介助を行う。きちんと座れたことを確認し、居室ドアの前まで誘導し、一旦停車。職員がドアを開けようとした際に廊下/ホールに転落。転落時フットレストは外れた状態であった。転落の際、壁の金属のドア枠に右頭頂部を打ち、9.0cmの開放創が出来た。13:40長男に電話にて報告、受診の許可をもらう。「終わったら連絡してください。」とのこと。13:50岡山西大寺病院受診。傷を縫合。抗生剤の処方あり。医師よりCTでは今のところ異常はないが、後から出血があることもある。明日、再度受診するよう指示あり。 1/22希望にて長男も同行し生活相談員の付き添いで受診。 事故後の経過として、1/22、1/25、2/4と受診をするがいずれも経過良好とのことで、2/4に抜糸し、以降は変わりなければ受診は不要となる。 【事故の原因】 ①座り直しをしたということであったが、背もたれにナーセントパットが設置されていたままであり、その状態で後ろから引くように座り直しを行っても、思っていたより深く座れていなかったのではないかと推察。その為、背もたれにもたれた状態から、上半身を起こすことで、勢いがつきすぎて、前方に転落されたのではないかと推察。 ②車椅子から手を離す状況にも関わらず、ブレーキをしていなかった事も原因ではないかと推察。 ③便意のサインを認識していたが、トイレで排便があったため、それで安心をしてしまったのではないかと推察。 ④施設全体として、福田さんが車椅子から転落する可能性があることについて、認識が甘かったのではないかと推察。 【対策】 ①座り直しの際はナーセントパットを外したうえで深く座り直しを行う。移動の際はナーセントパットは外したままで行う。また移動後停車の際は肩など手を添えたり、目を離さないようにする。 ②車椅子やご本人から手を離す、目を離す時には必ずブレーキをする。 ③便意のサイン後、排便があったとしても、まだ出切っていないで便意が継続する可能性があることを認識するとともに、前方へ転落する危険性があるという意識をもつこと。</p>
<p>平成28年 2/5(金) 発見 居室 不明 骨折 入院 自立度A (2) 認知症度 IV</p>	<p>2/5 5:00左側臥位でベッド上で臥床している。5:40訪室すると、ベッド上で、両足をベッドの外に出して、両手を上げた姿勢で右側臥位でいる所を発見する。便汚染しており、全身更衣後、立ち上がろうとするが足に力が入らず。痛みの訴えあり。歩行困難のため、車椅子にて介助で移動する。2/5の白中も立ち上がりは痛みのため拒否される。起立、歩行は不可能。靴を介助で履かそうとすると左足のみ、「痛たた」と言われ、顔をしかめることあり。16:50 左大腿部から膝にかけて腫脹、左大腿部7.0×1.3cmの薄紫色の内出血あり。23:10ベッド上でパット交換を行う時も、痛みの訴えや左大腿部に手を添えるなどあり。その後も体位変換時にも痛みの訴えあり。 2/6 9:05左大腿部触られると強く痛みの訴えあり。腫脹、内出血あり。体動困難である。嘱託医の指示にて10:15岡山西大寺病院に受診。左大腿骨転子間骨折の診断にて入院となる。 【事故の原因】 2/5 0:35にパット交換した時は良く休まれており、体位変換すると嫌がる仕草はあるが痛みの訴えはなかった。 5:00に巡視した時には左側臥位でベッド上で寝ておられたのを確認している。 事故時、便で汚れており、気持ち悪さから、ベッドの左側から降りられ、ベッドの右側(居室入口に近い側)へ行き、ベッド右の頭側に設置されたL字パー手前で、転倒し、L字パーにて左大腿部を打たれたのではないかと推察。 元々歩行時は左傾姿勢であったため、左方向へ転倒したのではないかと推察。 【対策】 できる限りの巡視の継続。 覚醒されている時にはトイレに誘導させていただく。</p>

平成27年度 けしごの里 施設改善アンケート 回答結果

28通のご回答をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

○項目別評価

	悪い	あまり良く思わない	どちらともいえない	まあまあ良い	大変良い	無回答
食事	0	0	4	7	16	1
排泄	0	0	1	11	15	1
入浴	0	1	2	7	16	2
行事・レク	0	0	3	5	20	0
ケアプラン	0	0	2	4	22	0
職員の対応・態度	0	0	1	5	22	0
緊急時の対応	0	1	3	3	19	2
相談のしやすさ	0	0	2	4	22	0
面会のしやすさ	0	0	0	4	24	0
総合	0	0	1	6	20	1



○当施設の好きなおところ

・いつもお世話になっております。祖母は面会のたびに『先生方がとても良くしてくれる』と言っています。食事楽しみにしています。行事も楽しんでいるようです。自宅に帰らせていただいた際も、本当に良くしていただき、家族皆、嬉しく思っています。ありがとうございます。

・とても綺麗で清潔で気に入っています。

・各グループの担当職員が入居者の状況を熟知しておられて、訪問した時にはどの職員も状況を詳しく説明してくれますので、月1回の訪問でもよく分かり有難いです。食事介助は時間をかけてもほぼ完食までやっていただいております。

・スタッフさんの変わらないところ、感じが良い。本当に良くしてくれていると感謝しています。

・外出が多い。本人の希望を取り上げて下さる。

・面会が自由にできる。職員の方が親切である。職員の方のあいさつがとても良い。

・職員の感じが良く親切。

・いつもお世話になります。母は予てより感情の起伏が激しくスタッフの方々にもご苦勞をおかけしていますが、当施設の担当スタッフの対応に感謝致しております。偏食もありましたが、ここの食事はいつもごちそう、と言って楽しみにしている様です。職員の方々の笑顔でのあいさつ、声かけが嬉しいです。

・ていねいな対応に感謝しております。

・いつも色々とお入居者を気遣って頂き大変ありがたく思っています。行事も多々あり、楽しく過ごしていると感じています。

・けしごの里では面会してもスタッフの人達が笑顔で対応して下さい、母の様子を教えて下さり、暖かみを感じています。忙しく動いている中で心配りを有難く思います。

・年間を通して色々な行事をしていただける。又、体調の変化等あれば連絡してもらえらるなど。

・職員の皆様の感じのよさ。行事・レクリエーションの充実さ。

・職員さんが皆さん優しいです。

・清潔感が優れていて感じがよい。

・何かあったらすぐにお伝えくださること。入居者の方々が話されていることをよく聴いてくださっていること。色々な職種の方々が母にも私にも声をかけてくださること。

○当施設の改善してほしいところ

・これは仕方のないことですが、当初に比べて職員の入替わりが早くなったような気がしています。慣れてきた頃に辞められるのは施設側も大変かと思いますが、慣れた人が居てくれるのは家族としては安心です。

・部屋(個室)の壁が汚れている所を修してほしい。

・ウォシュレットトイレを増やしてほしい。

・職員さんが忙しそうに相談したりして時間を取らせるのは悪い。ゆっくり相談できない。

・顔、耳たぶ内のふきそうじが不足している。簡易トイレを使用しているため臭気が室内にこもっている。換気を常時行って欲しい。健康状態、食事、排泄、睡眠などの状況を教えてもらえると安心できる。

・体重が気になるのでもう少し高カロリーの物を考えていただけたら幸いです。

・フロアに入居されている方々が何人かおられても職員さんがおられないことがあるのが少し気になっています。(配置されている人数の関係で仕方ないことだと思うのですが危ないことはないでしょうか?)

○その他ご意見

・いつもスタッフの方々が元気にあいさつしてくださり、面会の際も気軽に立ち寄り、嬉しいです。本当に大変なことをしていただいていると、いつも感謝しています。皆さん、ありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

・車がないので度々行けません。申し訳ありません。暖かくなったら自転車で行こうと思っています。

・かなり傾眠傾向が強くなっているため今年が峠かなと覚悟しております。延命措置を取るつもりはありませんが、どうか最後まで宜しくお願い申し上げます。

・困っていることなどありましたら、遠慮なくお知らせください。一緒に考え、こちらにできることはさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

・ホールの職員さんの姿が見えない時が多く、淋しさが感じられます。

・中々行けずに申し訳ありません。

・先日昼過ぎに訪問させていただいた時に、事務所に誰もおらず、帰りもそうでした。その時だけだと思いますが、、、。

・病院に入院している感じが強く、Home(家)という感じが少ない。

・保育園児や小学生との交流の会をもっと増やしてあげたらよいでしょう。なかなか難しいこともあると思いますが。

・母が圧迫骨折になり、痛みのため手をわずらわせることが多くなっているのにも関わらず、本当によくしてくださっていること、ありがとうございます。貴施設にお世話になってから安心して預けさせていただいております。夜間、一人で25人の入居者を見ることはとても大変だと思います。家族はエレベーターしか使えませんが、どこかの階段(1カ所でもいいので)も使えるようにしてほしいのですが。。(食事の配膳時、エレベーターの点検時など邪魔をすると申し訳ないのです)

○施設改善アンケートにて回答のあった改善すべき点

要望等についての返答および改善策

Q1. ・部屋（個室）の壁が汚れている所を修してほしい。

A1. 随時対応させていただきますので、またお気づきの点ありましたら、気軽にお声かけください。

Q2. ・職員さんが忙しそうで相談の時間を取らせるのは悪い。ゆっくり相談できない。

A2. お気を遣わせてしまい申し訳ありません。時間帯によって職員が部屋に入る時間ができますので、お手数ではありますが、ナースコールを押して呼んでいただく、もしくは生活相談員に御遠慮なくご相談下さい。

Q3. ・ウォシュレットトイレを増やして欲しい。

A3. ご意見ありがとうございます。適宜、検討させていただきます。

Q4. ・病院に入院している感じが強く、Home（家）という感じが少ない。

A4. ご意見ありがとうございます。ご利用者様にとって家庭的な施設となるよう努めておりますが、今後とも職員・ご家族様と一緒に協働させていただけたらと思いますので、宜しければ、個人ごとのご意見もお聞かせいただけましたら幸いです。

Q5. ・顔、耳たぶ内のふきそうじが不足している。簡易トイレを使用しているのに臭気が室内にこもっている。換気を常時行って欲しい。健康状態、食事、排泄、睡眠などの状況を教えてもらえると安心できる。

A5. ご心配をおかけして申し訳ありません。室内の衛生管理も含めて、引き続き気をつけていきます。また、ご面会時等に日々の状況もお伝えできたらと思います。

Q6. ・フロアに入居されている方々が何人かおられても職員さんがおられないことがあるのが少し気になっています。（配置されている人数の関係で仕方ないことだと思うのですが危ないことはないでしょうか？）

A6. ご心配をおかけしておりますが、Q2・A2のような時間帯がありますので、フロアの状況を確認して、訪室するよう努めております。また、1ユニット一人体制と夜間2ユニット一人以上の体制を規定の人数以上の配置に努めております。個々の皆様の状況把握にも引き続き努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

Q7. ・家族はエレベーターしか使えませんが、どこかの階段（1カ所でいいので）も使えるようにしてほしいのですが。。（食事の配膳時、エレベーターの点検時など邪魔をすると申し訳ないのぞ）

A7. エレベーター点検時や故障時等、緊急時には随時階段の使用はお伝えさせていただきますので、セキュリティの都合上、原則はエレベーターの使用をお願いできればと思います。

Q8. ・体重が気になるのでもう少し高カロリーの物を考えていただけたらと思います。

A8. ご本人様の現在のご状況（日々の食事摂取状況や排便状況等）を考慮させていただき、ケアプランを検討させていただいておりますので、またお気付きの件ありましたらケアマネージャーからのお電話の際や生活相談員へご相談下さい。

Q9. ・これは仕方のないことですが、当初に比べて職員の入替わりが早くなったような気がしています。慣れてきた頃に辞められるのは施設側も大変かと思いますが、慣れた人が居てくれるのは家族としては安心です。

A9. ご心配をおかけして申し訳ありません。職員の確保と充実に関しまして、ご利用者・ご家族の皆様にも少しでも安心が増えますようけしごの里、全体で取り組んでおりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

◎この度はご多忙中にも関わらず、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご意見を基に改善会議を行わせていただきました。今回いただいたご意見だけではなく、その他のサービス内容の見直しや改善を行い、全スタッフで皆様に安心して過ごしていただけますよう創意工夫とサービスの向上に努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。